

- 問1 北海道二セコ町の月別外国人宿泊者数は12月から3月にかけて突出して多く、産業別の就業者数割合では飲食業・宿泊業が17.8%で最も高い数値を示しています。これらのデータから読み取れる地域の特徴として、最も適切な記述を選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）
1. 夏季の観光需要の高まりに合わせて外国人観光客が集まるため、年間を通じて農業の就業者数が最も多い。
 2. 外国人観光客の宿泊が夏場に集中しているため、冬場は観光関連産業の就業者が減少し農業へ移行している。
 3. 全国の平均と比較して製造業の就業者割合が極めて高く、外国人観光客は年間を通じて均等に宿泊している。
 4. ウィンタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。
- 問2 1997年に施行された「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）」が、それ以前の政策から大きく転換した点について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）
1. アイヌの人々に対して金銭的な補償を行うことで、すべての歴史的課題を解決する方針に転換した。
 2. アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。
 3. アイヌの人々を日本人に同化させることを目的とし、日本語教育を義務づける方針に転換した。
 4. アイヌの人々の居住地を北海道に限定し、伝統的な狩猟や漁業の権利のみを保障する方針に転換した。
- 問3 かつての石狩平野の自然環境と、その土地で行われた開発の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。
 2. 火山噴出物が堆積した水はけの良すぎる土地であったため、大規模なかんがい施設を整備して畑作を行った。
 3. サンゴ礁が隆起してできた保水力のない土地であったため、地下ダムを建設して農業用水を確保した。
 4. 海岸近くの浅瀬を堤防で囲んで干し上げた土地であったため、塩害を防ぐための用水路整備を優先した。
- 問4 世界遺産に登録されている知床では、多くの観光客が訪れる一方で、自然環境を破壊しないための対策が取られています。湿原や高山植物が広がるエリアに「木道」が設置されている主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 大雨が降った際に地面の侵食を防ぎ、土砂が海へ流出するのを食い止めるため
 2. 周辺の森林から切り出された木材の輸送を効率化し、地元の林業を活性化させるため
 3. ヒグマなどの野生動物が、人間の歩行ルートに侵入できないように物理的に遮断するため
 4. 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため
- 問5 日本の都道府県別の統計において、北海道の耕地面積は全国の約25%という広大な面積を占めていますが、農業産出額の全国シェアは約13.5%となっています。この数値の比較から読み取れる、北海道の農業の特徴として適切なものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 耕地面積は非常に広いが、農業産出額の合計は全国の都道府県の中で最も低い水準にある
 2. 耕地面積の割合よりも、農業産出額の全国シェアの方が高くなっている
 3. 耕地面積と農業産出額のどちらも、全国の約半分以上を占める圧倒的な規模である
 4. 広大な耕地面積を有しているが、面積の割合に比べると農業産出額の割合は低くなっている
- 問6 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。
 2. 大消費地に近い立地を活かして、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。
 3. 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。
 4. 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。
- 問7 北海道の酪農において、近年の統計で見られる「飼育戸数が減少しているにもかかわらず、全体の生乳生産量が増加している」という現象の背景にある、生産体制の工夫を説明する用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 地産地消と手作業の重視
 2. 施設園芸農業と有機栽培
 3. 減反政策と多角経営
 4. 経営規模の拡大と機械化
- 問8 札幌市の気候の特色を、本州の都市と比較して説明したものとして、最も適切な内容を選んでください。（2023年 福井県公立入試 類似）
1. 日本海流の影響を強く受けるため、1月の平均気温は氷点下にはならず、年間を通じて降水量が平均化されている。
 2. 季節風の影響で冬の降水量は本州の日本海側より多いが、夏季は太平洋高気圧の影響で非常に高温多湿となる。
 3. 1月の平均気温が氷点下となる一方で、梅雨前線の停滞により初夏の降水量が本州の都市よりも多くなる。
 4. 緯度が高いため1月の平均気温が氷点下となり、梅雨や台風の影響が少ないため夏季の降水量が本州に比べて抑えられている。
- 問9 北海道西部に位置する石狩平野は、かつて植物の遺体が十分に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地帯が広がっており、農業には不向きな土地でした。この地域において、他の土地から土を運び入れる「客土」などの土地改良が行われた結果、現在ではどのような農業が盛んに行われていますか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
1. 十勝平野で見られるような大規模な畑作
 2. 冷涼な気候を活かしたリンゴなどの果樹栽培
 3. 根釧台地で主流となっている大規模な酪農
 4. 大規模な機械化による水田稲作
- 問10 旭川市周辺において、昭和から平成にかけて田畑や空き地が住宅地や発電所へと変化した現象について、その背景にある社会的な要因として最も適切な説明はどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）
1. 自然環境を保護するために、市街地の面積を昭和初期の規模にまで縮小させたため。
 2. 食料自給率を向上させるために、都市部の建物を壊して農地を拡大する政策がとられたため。
 3. 交通網の衰退により、郊外からの人口流出が激しくなり、土地が放置されたため。
 4. 都市化の進展に伴い、居住空間の確保やエネルギー供給の必要性が高まったため。
- 問11 北海道の農業産出額の構成において、畜産の占める割合が5割を超え、米の割合を大きく上回っている理由として最も適切な説明はどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）
1. 平地が少ないため、傾斜地を利用した果樹栽培が盛んに行われているため
 2. 大消費地に近い利点を活かして、野菜の生産を最も重視しているため
 3. 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため
 4. 冷涼な気候を活かして、米の生産に特化した大規模農業が行われているため
- 問12 北海道の東部に位置する太平洋沿岸の地域では、夏に「濃霧（海霧）」が発生し、日照不足などの影響を与ることがあります。この現象が発生するメカニズムの説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。
 2. 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。
 3. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。
 4. 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。